

ジャッジ講習会2019

ドライバー座学

目次

- ❖ ドライバーとは
- ❖ ドライバーの役割
- ❖ 注意点
- ❖ よく起こる問題

ドライバーとは

ドライバーとは

- ❖ 大会運営側が提供する設備の一部であり、公平公正に従事しなければならない。
- ❖ ルールブックに則って、ルールを徹底実行する。

曳航艇は

❖ ほとんどの場合、大会主催者の方の私物である、ボートをお借りして試合を開催している。

❖ 大事に扱う

❖ 綺麗に保つ

❖ 備品を破損、紛失しない

全力で気をつけてください。

ドライバーの役割

チーフドライバーと競技前に決めること

- ❖ 着岸と離岸の方法
- ❖ 各競技でのコース取り
- ❖ 旋回位置
- ❖ 選手のオフの仕方/タイミング
- ❖ パス間の休憩時間

一度決定して、カテゴリを
開始したら変えてはいけない。

競技開始前に確認すること< 1 >

- ❖ ガソリンの量
- ❖ エンジンオイル/ミッションオイル レベル
- ❖ ビルジ レベル
- ❖ GPSの設定

競技開始前に確認すること< 2 >

- ❖ 曳航艇とサブ曳航艇の有無、救助艇の確認
- ❖ オフィシャルロープの確認
- ❖ 試走を競技開始何分前から何パスやるか

競技開始前に確認すること< 3 >

- ❖ サングラス
- ❖ 日焼け止め
- ❖ 帽子（キャップ）
- ❖ 雨具兼防寒具

競技中に意識すること< 1 >

- ❖ 競技開始前に決めた、コース取りなどを常に公平に走行する。
- ❖ 選手申告のスピード/レター/モード
- ❖ タイム (idealとの差) ※ドライバーズタイム
- ❖ ガソリンの量
- ❖ 自分とサブドラの休憩タイミング=眠気、食事、トイレ...

スラローム ドライバーズタイム

14. 17 ドライバータイム

できる限り正規のタイムに近づくことを確実にするため、ドライバータイムが規定される。ポートジャッジとチーフジャッジは、タイムがドライバータイムに収まるよう、ドライバーの状態と能力を監視する。ドライバータイムからの逸脱は選手に再走をもたらすことはない。しかしながらドライバーは、タイムをドライバータイムに収めるよう、そしてもしそれが改善されない場合は交替させられる旨、警告される。

Boat speed	Score:	All 6
Km/h	Fm/To:	E-Exit
58 k m	Fast	16.04
	Ideal	16.08
	Slow	16.12
55 k m	Fast	16.90
	Ideal	16.95
	Slow	17.00

競技中に意識すること< 2 >

- ❖ スラローム

- ❖ ロープの長さ、曳航スピード、モードスイッチ

- ❖ トリック

- ❖ 往路復路の曳航スピード、モードスイッチ、リリーサー

- ❖ ジャンプ

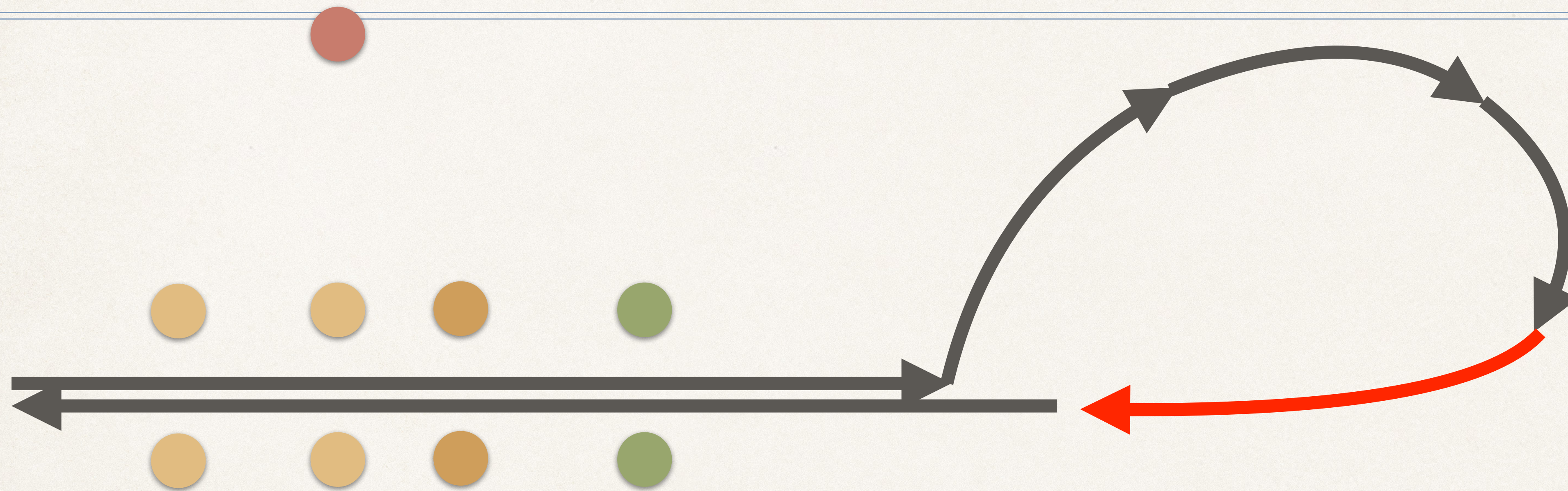
- ❖ ジャンプスイッチ、レター、曳航スピード

競技終了後 片付け

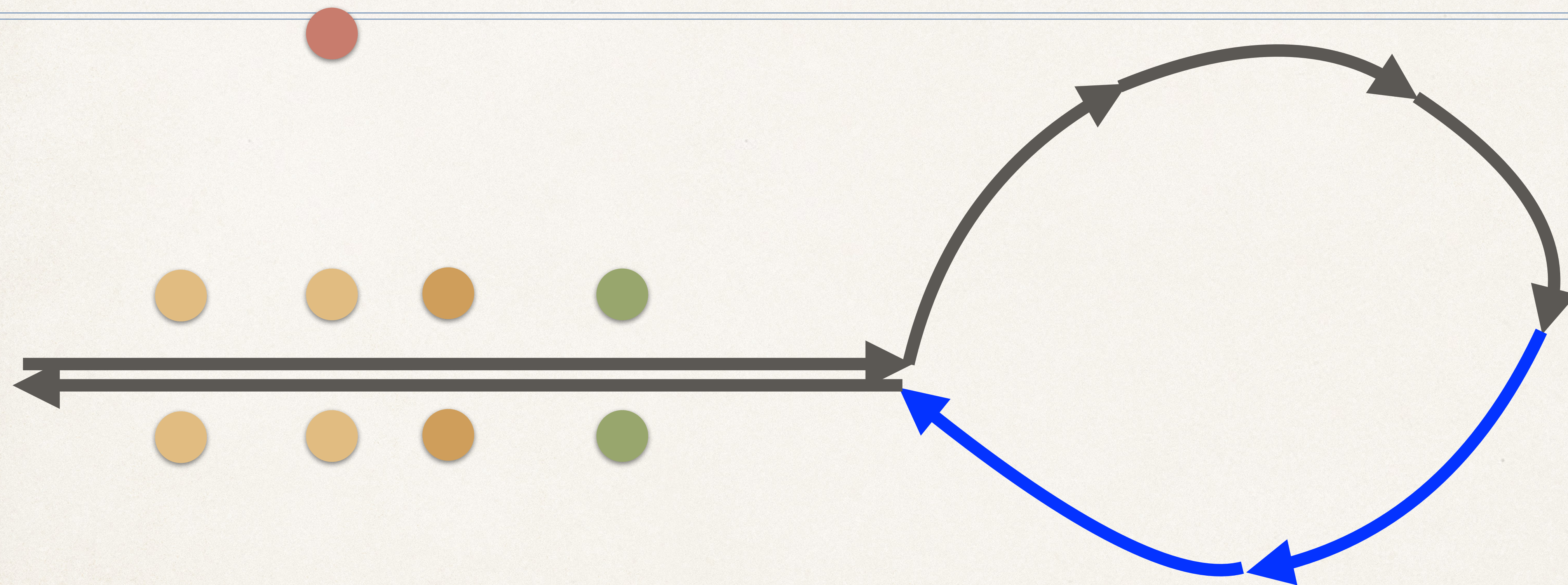
- ❖ オフィシャルロープ
- ❖ ジャンプスイッチ
- ❖ ビルジ
- ❖ ガソリン
- ❖ オーニング

旋回時の注意点

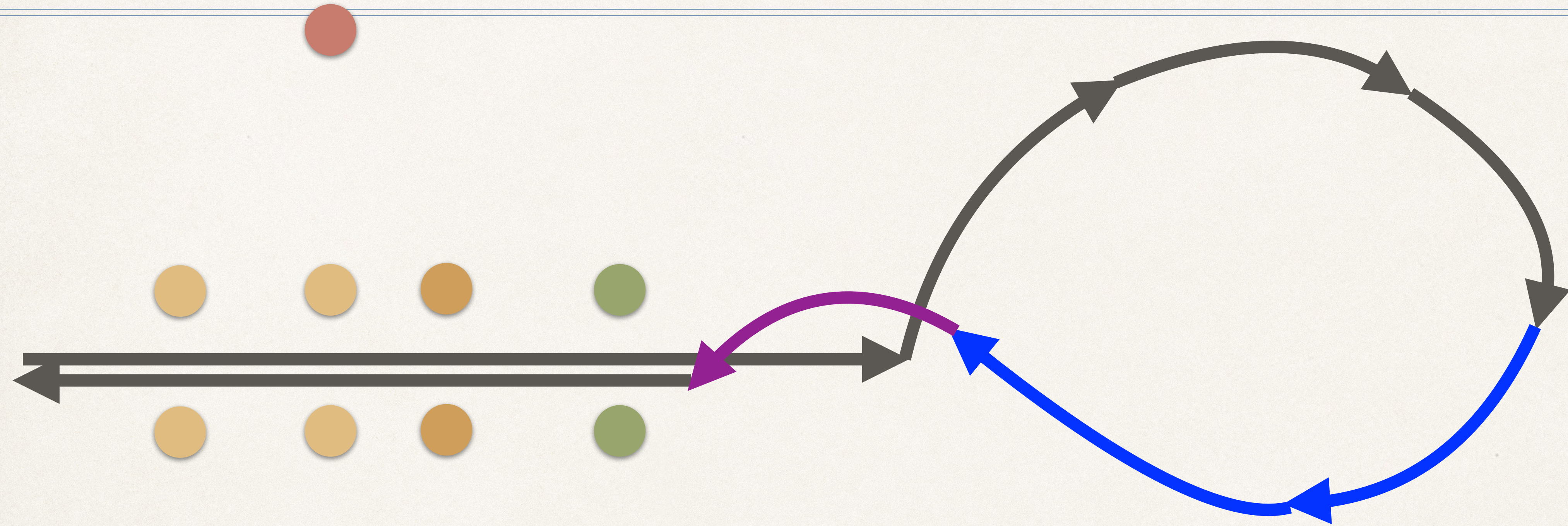
スラローム 旋回のコース取り



膨らまない



行き過ぎない



救助艇の注意点

救助艇の配置と走り方

- ❖ 救助艇の待機配置は、
コースに対して垂直に、船首をコースに向ける
- ❖ 移動するときは、
微速と中立を繰り返しながらなるべく引き波を立てない
コースに対して平行に移動する

救助艇の位置

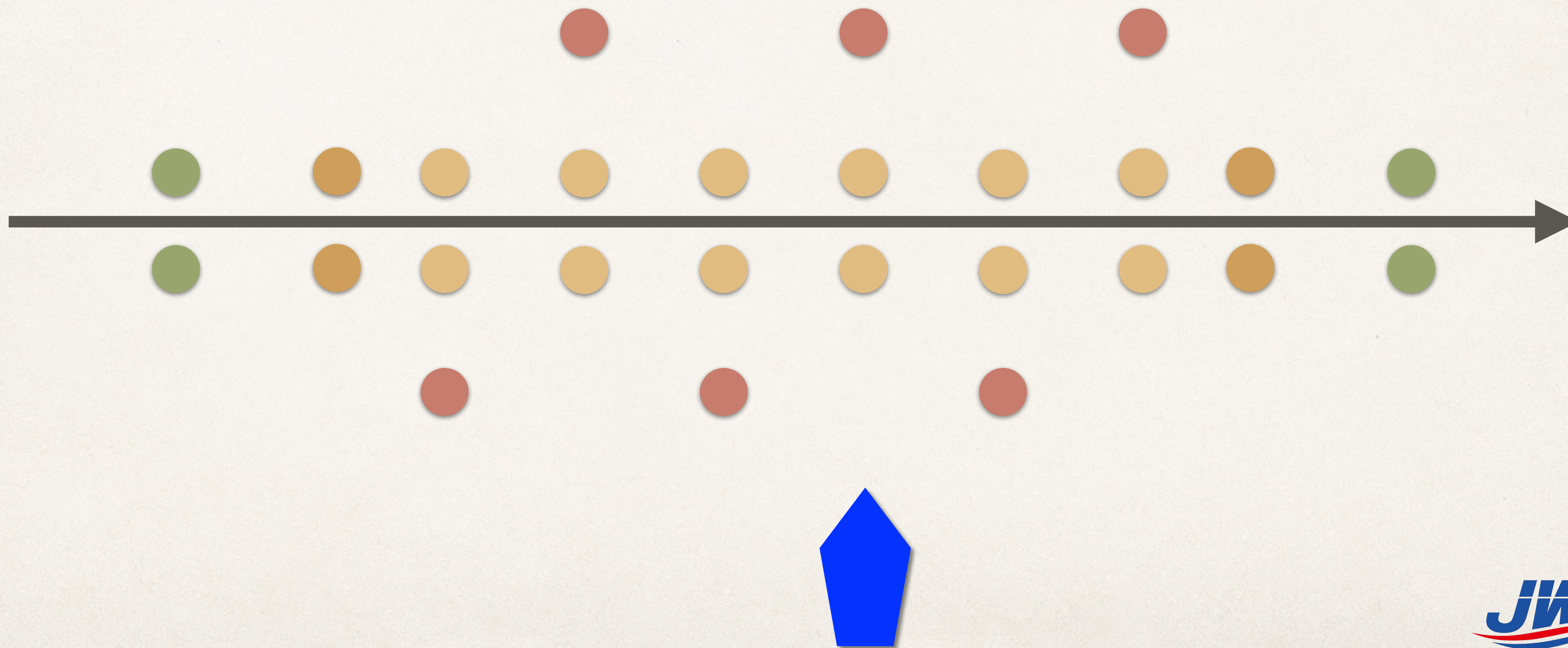
7. 05 救助艇

すべての競技種目の開催中、および公式練習の間、**少なくとも1隻(2隻が望ましい)**の救助艇を使用しな

なければならない。ただしジャッジの過半数、およびセーフティディレクターが救助艇を使用する必要がない、と同意した場合は、陸上に救助要員を配置する。救助艇または救助要員の望ましい配置は以下の通りである。

- スラローム競技： 第2スキークーブイと、第5スキークーブイの間のコースの外側。
- ジャンプ競技： ジャンプコースブイの外側でジャンプ台の反対側、かつ、選手の着水予想地点。
- トリック競技： 選手の演技するコースの間で、コースブイの外側。

スラローム 救助艇



救助艇の位置

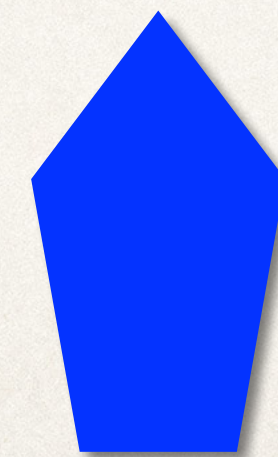
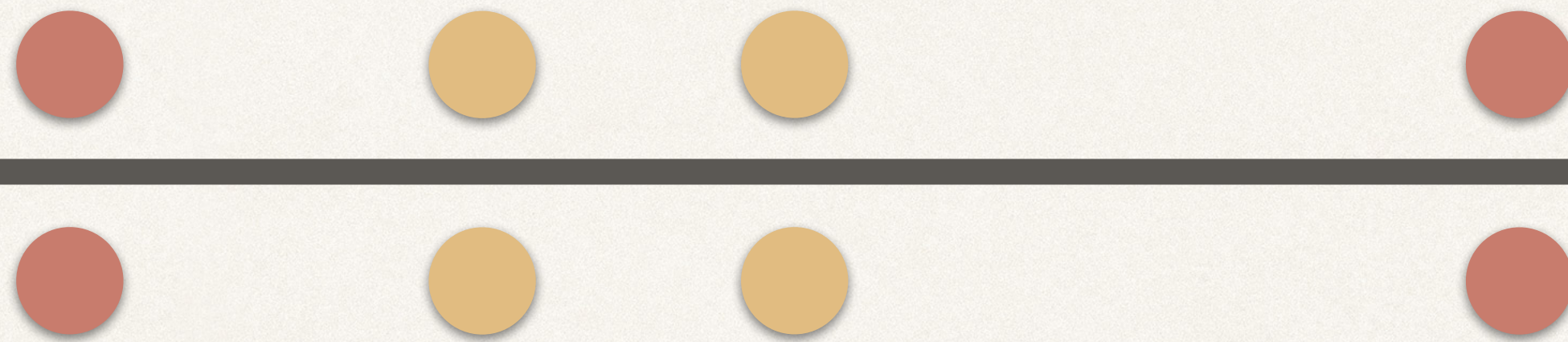
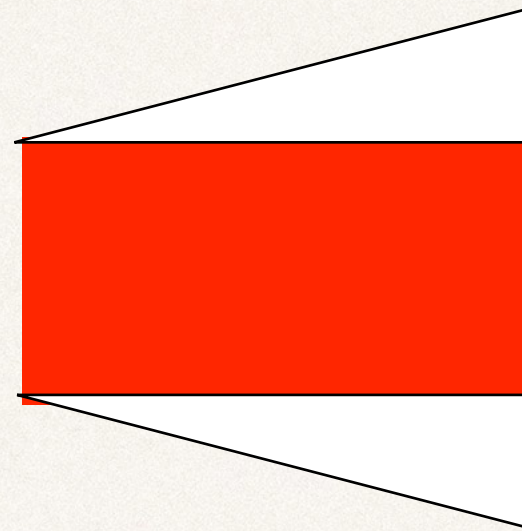
7. 05 救助艇

すべての競技種目の開催中、および公式練習の間、**少なくとも1隻(2隻が望ましい)**の救助艇を使用しな

なければならない。ただしジャッジの過半数、およびセーフティディレクターが救助艇を使用する必要がない、と同意した場合は、陸上に救助要員を配置する。救助艇または救助要員の望ましい配置は以下の通りである。

- スラローム競技： 第2スキヤーブイと、第5スキヤーブイの間のコースの外側。
- ジャンプ競技： ジャンプコースブイの外側でジャンプ台の反対側、かつ、選手の着水予想地点。
- トリック競技： 選手の演技するコースの間で、コースブイの外側。

ジャンプ 救助艇



救助艇の位置

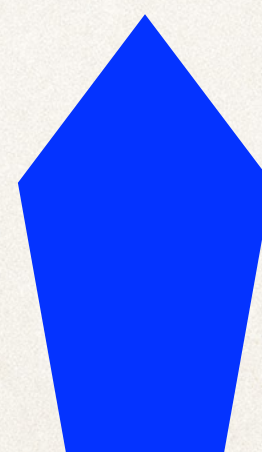
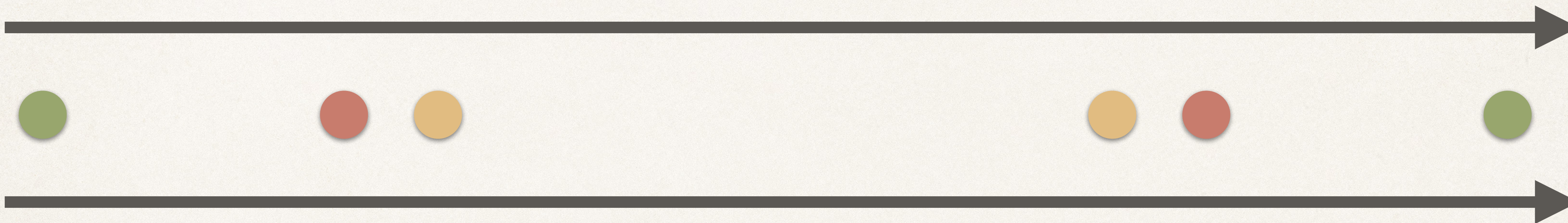
7. 05 救助艇

すべての競技種目の開催中、および公式練習の間、**少なくとも1隻(2隻が望ましい)**の救助艇を使用しな

なければならない。ただしジャッジの過半数、およびセーフティディレクターが救助艇を使用する必要がない、と同意した場合は、陸上に救助要員を配置する。救助艇または救助要員の望ましい配置は以下の通りである。

- | | |
|----------|--------------------------------------|
| スラローム競技： | 第2スキークーブイと、第5スキークーブイの間のコースの外側。 |
| ジャンプ競技： | ジャンプコースブイの外側でジャンプ台の反対側、かつ、選手の着水予想地点。 |
| トリック競技： | 選手の演技するコースの間で、コースブイの外側。 |

トリック 救助艇

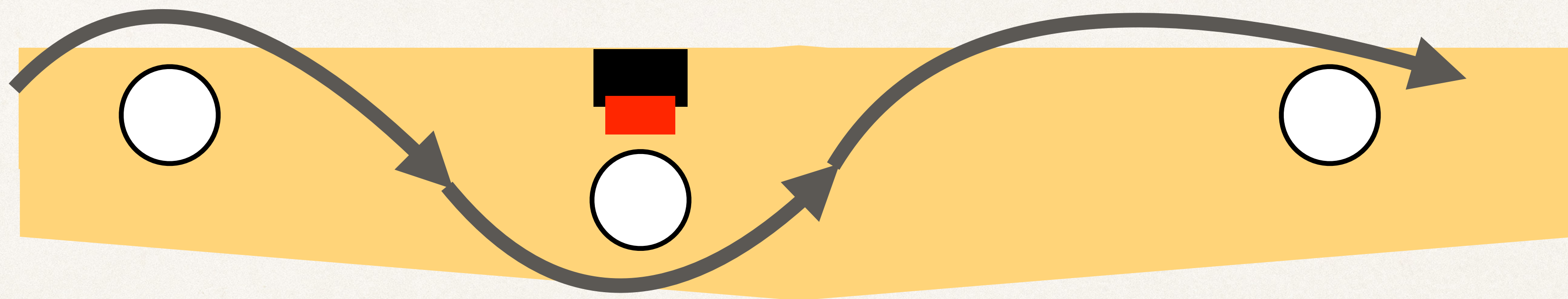


よく起きる問題

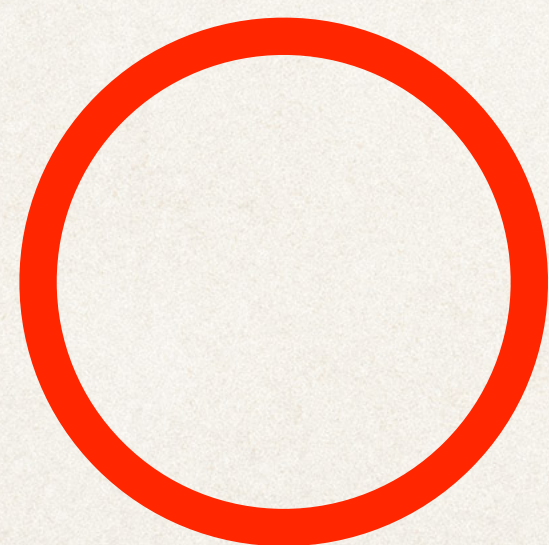
選手入れ違い時の間違い

- ❖ スピード、ロープの長さ、モード
- ❖ 例：スラロームにおいて、ずっと18.25mで競技が進んでいたところ、5.0@16mまできた選手が出た、次の選手
- ❖ 例：ジャンプにおいて、45kmボージャンで3チンする選手が4～5人出て1時間半以上経過した後に突然現れる51kmの選手

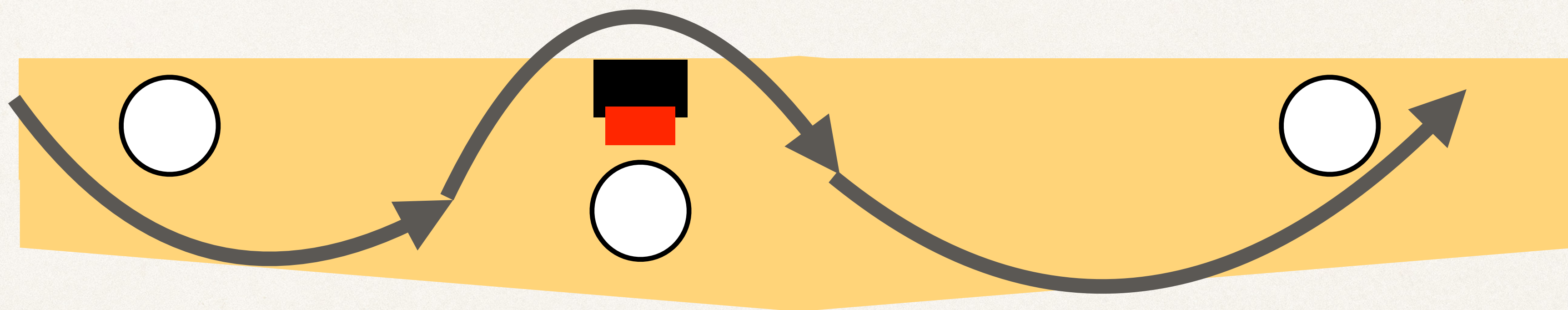
ジャンプスイッチの入れ違い



❖ 正解



ジャンプスイッチの入れ違い



❖ 間違い



スタート時の失敗

❖ 初心者

例：曲がってスタートする

スタートしてすぐに旋回する

スタートの船のスピードが速すぎる、遅すぎる

ロープが板にからまっている

よく見ると溺れている

スタート時の失敗

❖ 上級者

例：ジャンプでピットスタートする

スタートのスピードが遅すぎる

トリックのリリーサーが油断していてロープを離す

ペラってしまう時

- ❖ ジャンプでまくれた選手を焦って救助するとき
- ❖ トリックのトーホールドでこけた選手を拾うとき
- ❖ スラロームコース内で急旋回して戻るとき
- ❖ 競技時間全体がなくなってきた急いで
次の選手に行く必要があるとき（特に日没前）

ペラってしまうモノ

❖ ジャンプの距離ブイ

❖ ジャンプ台のアンカーロープ

❖ スラロームのコースブイ

選手が離れたバーでブイを切ることもある

ドライバーは集中力と持続力が必要。

一番、選手の演技に影響を与える“ジャッジ”である。

-Johnny Appleseed

おわり
